



▲プレゼンテーションの様子

ちば起業家大交流会（1月19日）

県内発の起業を応援するためのビジネスプラン・コンペティション「ちば起業家大交流会」。萩原さんは、ファイナリストとしてプレゼンテーションを行い、自身の経験や山の現状などを語られました。

里山再生を目指す萩原さんの熱い思いは、会場に集まった多くの人たちの心を動かししました。



萩原 康宏さん

里山再生のため起業を決断。そのきっかけと自身の経験から語るメッセージとは――

自分が家を立てようとした際、子どもの頃に植林した杉が何の役にも立たないことが分かり、現在の山に価値がないことを思い知りました。そして「価値がないから管理

をしない」「管理をしないから価値が出ない」そのような負のスパイラルから抜け出そうという気持ちがあきつかけとなり「山武杉+E.C（電子商取引）による里山再生」の事業スキームを思い付きました。

世間では、若者に限らず「働くII会社勤務」と思い込んでいる人が多いですが、現在さまざまな働き方が認められる時代です。自分と周囲の人たちが必要だと思うサービスや製品は他の多くの人にも求められているはずだと思っています。

若者はその勢いで、年配者は経験を生かして新しい事業にチャレンジしてください。

一町内に住み町外で働く――

自動車整備業

勤務地 横芝光町

通勤時間 20分

メリット

- ・在勤者として自治体の制度やサービスなどが利用できる

事務職

勤務地 成田市

通勤時間 30分

デメリット

- ・地形や地理、各自治体のルールに慣れるのが大変



武越 望さん

菓子店勤務とラジオのMC。2児の母でありながらダブルワークを実現するには――

保険会社で働く予定だったものの、家庭の事情などによりフルタイムで勤務することが難しく、現在は父母の経営する菓子店「はすっ娘本舗（富里市）」で週3〜4日働いています。

また、ラジオのMCとして、毎週木曜日の午前11時〜11時30分に放送される「ラジオ成田」内の番組を担当しており、月2回ほど収録を行っています。家事や子育てと二つの仕事の両立で一番大変だと思うことは「時間の確保」です。家族との時間を確保しながら仕事をこなすため、スキ間時間を活用することを心掛けています。

菓子店に出勤しない日を使って店舗で販売する小物作りをしているほか、家事の合間にラジオの原稿を考えるなど、時間を上手に使うことが、無理なくダブルワークを続けられるコツだと思っています。



人生は冒険！
若いうちは失敗を恐れず
やりたいことに挑戦してください！

GOOD!!
☺️



君たちなら
どんな困難な壁でも
乗り越えられると
信じています。

前進あるのみ！
さまざまな場所での
活躍を祈っています。



人を守るような存在に
なってください！



大丈夫、 みんなの未来は きっと明るい。

新しい環境に飛び込むとき、不安になることも
あると思います。でも、大丈夫。皆さんの周
りではたくさんの方が応援してくれています。
特集の最後に、人生の先輩方からのメッセージ
を紹介します。

大変なことも
あるけれど、
めげずに頑張れ！



コロナに負けるな！
これから社会に出ても
頑張って！



仕事も私事も
思い切り楽しんで！



人のために
行動できる大人に
なってください！



Let's
Go!!

がんばれ!